

事業報告

令和4年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
企業・高校等を活用したチャレンジ教室開発事業 「県によるプログラム提示②」

日時：令和4年12月4日（日）

会場：大分県立図書館 参加者：4名（4市） 小学生：21名

<研修趣旨>

「おおいたを知る・おおいたを学ぶ・おおいたを体験する」ことのできる小学生向けの各種体験プログラムを多様な経験や技能をもつ外部団体と連携して開発・実施し、併せて市町村へのプログラムの紹介・普及を図る。

<研修内容>

【第1部】▼「みんなとつながる文化・芸術体験」プログラム見学

協力団体：「アート制作体験」：大分市地域おこし協力隊
：「新聞で言葉をもっと豊かにする体験」：大分合同新聞社
：「ポップ広告制作体験」：イラストレーター/デザイナー 森 海里 氏

今回のプログラムは、文化・芸術を活かして、人と人をつなぐ取組や活動をされている企業・団体の協力をいただき、「アート制作体験」「新聞で言葉をもっと豊かにする体験」「ポップ広告制作体験」の3つの創造的な体験活動を準備・企画していただいた。創作活動に十分な時間を確保すると共に、互いに発表・鑑賞する時間を設定して、参加した小学生同士のコミュニケーションを促進していただいた。



【開会行事 主催者あいさつ】
大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課長 矢野 修



【開会行事 講師紹介】
左から 泊氏 宗岡氏 森氏



「アート制作体験」①大きな紙に描く
大分市地域おこし協力隊 泊 麻未氏



「アート制作体験」②
キモチのアートケーキ



「新聞で言葉をもっと豊かにする体験」①
大分合同新聞社 GX 編集部 編集委員
宗岡 博之 氏



「新聞で言葉をもっと豊かにする体験」②
新聞から元気になる言葉を切抜き



「ポップ広告制作体験」①
イラストレーター/デザイナー 森 海里 氏



「ポップ広告制作体験」①
イラストレーター/デザイナー 森 海里 氏

【第2部】▼協力団体との協議・意見交換

協力団体の代表から今回実施したプログラム及びその他実施可能なプログラムについて説明していただいた。その後、質疑・意見交換を行った。今回の体験活動は、小学生を対象として実施するだけでなく、公民館での大人を対象とした体験活動としても興味深いとの意見も出された。短い時間であったが有意義な協議となった。

＜参加者感想＞

- 集中力や目が輝く児童達。参加者がいろいろなものを学び体験できたワークだと思った。
 - 常生活の中では経験・体験できないことに触れることは非常に有益とされます。このような機会をより多く作ることができたらと思われま。
 - とても役に立つ会議の内容だった。今日来てよかったと思った。
 - 実際に講師として活動されている方のお話が伺えて非常に貴重な機会でした。講師や内容のマンネリ化を解決するためにも、今後ともこのような機会を提供していただけたら幸いです。
- (小学生)
- ・学校ではやらないようなことをして楽しかった。みんなの絵が全然違って面白かった。またやりたいです。
 - ・新聞は一つ一つ心が込められている事がわかりました。
 - ・どんな感じに書けば見てもらえるかということを教えてもらい、考えることができました。